

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3198673号
(U3198673)

(45) 発行日 平成27年7月16日 (2015. 7. 16)

(24) 登録日 平成27年6月24日 (2015. 6. 24)

(51) Int.Cl.

G 0 1 C 21/26 (2006.01)

F 1

G 0 1 C 21/26

C

評価書の請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全 3 頁)

(21) 出願番号 実願2015-2267 (U2015-2267)
(22) 出願日 平成27年4月16日 (2015. 4. 16)(73) 実用新案権者 509218962
北原 登志子
兵庫県宍粟市千種町岩野辺 1 2 8 4
(72) 考案者 北原 登志子
兵庫県宍粟市千種町岩野辺 1 2 8 4

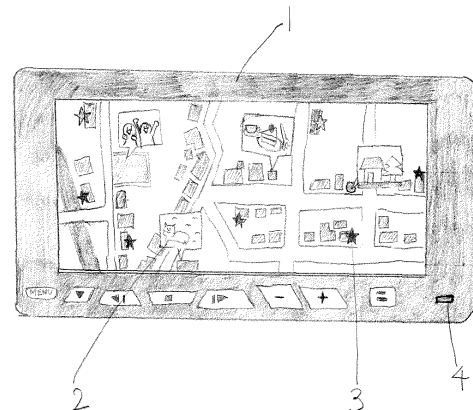
(54) 【考案の名称】 画像や動画、音声が入力できるカーナビゲーション

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 地図上の任意の位置に画像、文字、音声を挿入し表示させることができるカーナビゲーションを提供する。

【解決手段】 カーナビゲーション本体 1 の内部に画像、動画、音声を挿入し記録させ表示、再生する装置を搭載する。

【選択図】 図 1



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】

カーナビゲーション本体に地図表示された任意の位置に、画像、動画、音声を挿入し記録したものを表示する装置を搭載し、前記記録された画像、動画、音声を地図情報とともに表示、再生することができる装置を搭載することを特徴とする画像や動画、音声が入力できるカーナビゲーション。

【考案の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本考案は、カーナビゲーションに画像や動画、音声を挿入したり、挿入した情報を再生したり編集できる機能を付属させるカーナビゲーションに関するものである。 10

【背景技術】

【0002】

従来、カーナビゲーションは、人工衛星からの情報を受け取り、それを表示するのみでその地点での画像、動画、音声を入れたり再生、編集する機能がなかった。

【考案の概要】

【考案が解決しようとする課題】

【0003】

カーナビゲーションの任意の通過位置に、画像、動画、音声を入れる機能を提供し、それを、再生、編集できる。またカーナビゲーション以外の情報表示機器に移し再生、編集などの加工ができる。 20

【課題を解決するための手段】

【0004】

本考案は、カーナビゲーションに画像、動画、音声を記録保存する装置を付属させることで、運転者の任意の通過位置で、カーナビゲーションに画像、動画、音声を入力したり、その記録保存された情報をカーナビゲーション自体で再生、編集したり他の携帯電話等の表示機器に移し再生させたり編集することもできる。

【考案の効果】

【0005】

従来、カーナビゲーションは道案内の機能だけを有し、ドライブが持つ楽しさを記録、再生することができなかった。画像、動画、音声を入力することにより、運転者独自の旅日記的なものができ、ドライブの楽しさが増大し、観光産業に波及効果が見込める。ドライブに、より一層の楽しさを付加することにより、車の購入者を増やすことにもつながる。新しい電子機器による経済効果、雇用の創出も見込める。 30

【図面の簡単な説明】

【0006】

【図 1】カーナビゲーションに写真を挿入した図

【考案を実施するための形態】

【0007】

カーナビゲーションに画像、動画、音声記録装置を搭載させ、地図上の挿入させたい位置で画像、動画、音声を入力し記録する。記録された画像、動画、音声が入力されていることを表示するタッチパネル式のアイコンを地図上に表示する機能も付属させ、再生したい時には前記アイコンをクリックすることとする。前記カーナビゲーションには他の表示機器に名前をつけて保存した前記情報を流す機能も有し、地図情報と挿入された前記画像、動画、音声情報を携帯端末やパーソナルコンピューター等に流し再生したり編集したりすることもできることとする。 40

【実施例】

【0008】

以下添付図に従って、一実施例を説明する。1は、カーナビゲーション本体であり、2の写真や動画を挿入することができる。3は、画像、動画、音声が入力され折り畳まれて 50

いることを示す、アイコンである。

【0009】

4はカーナビゲーションに設けられたケーブルを接続する出力口である。

【符号の説明】

【0010】

- 1 カーナビゲーション本体
- 2 挿入された画像や文字説明
- 3 挿入された画像や文字が折り畳まれた状態を示すアイコン
- 4 ケーブルを接続する出力口

【図1】

